

## 6 一般方式による申告書等の記入方法

### (1) 儻却資産申告書の記入方法

 提出年月日を記入します。 <b>令和 8 年 1 月 25 日</b> <b>周防大島町長 殿</b>	<b>令和 8 年度</b> <b>償却資産申告書 (償却資産跡既口帳)</b>	<b>者 一 ド</b> <small>第二十六号様式 (提出用)</small>																																																																																					
<p><b>〈1住所〉</b> 個人は住民票上の住所、法人は本店の所在地を記入してください。ビル名等方書きも記入してください。 ※納税通知書の送付先が別にある場合はカッコ書きで記入してください。</p> <p><b>〈2氏名〉</b> 所有者が法人の場合は、その名称及び代表者の氏名を、共有されている場合は、「代表者外〇名」と記入し、屋号があれば記入してください。</p> <p><b>〈3個人番号又は法人番号〉</b> 個人の方は12桁の個人番号を、法人は13桁の法人番号を右詰めで記入してください。</p> <p><b>〈4事業種目〉</b> 事業種目を具体的に記入してください。また、法人にあっては、資本金又は出資金の額も記入してください。</p> <p><b>〈5事業開始年月〉</b> 個人の場合は事業開始年月を、法人の場合は設立年月を記入してください。</p> <p><b>〈6この申告に応答する者の係及び氏名〉</b> 申告書の内容についての問い合わせ先を記入してください。</p> <p><b>〈7税理士等の氏名〉</b> 経理を委託している税理士等の氏名及び電話番号を記入してください。</p> <p><b>〈8～14短縮耐用年数の承認等〉</b> 該当する方を○で囲んでください。</p> <p><b>〈15町内における事業所等資産の所在地〉</b> 周防大島町における事業所等資産の所在地(例、太陽光発電設備設置場所)をすべて記入してください。</p> <p><b>〈16借用資産〉</b> 家屋を除く借用資産(リース資産、レンタル資産)がある場合、貸主の名称、住所等を記入してください。</p> <p><b>〈18備考〉</b> 次のような事項を記入してください。        - 該当資産がなければ「資産なし」。        - 前年より増減がなければ「増減なし」。        - 種類別明細書(増加資産・全資産用)、課税標準の特例適用資産、耐用年数の短縮等を適用した資産を所有している場合は添付書類の名称。        - 儻却資産を共有されている場合は、所有者全員の住所、氏名。        - その他、この申告に必要な事項及び償却資産の評価について参考となる事項。</p>																																																																																							
<p>すおうおおしまちょうおおあざこまつ 周防大島町大字小松126番地2 (電話 0820-74-1008)</p> <p>すおうぜいむ かぶしきかいしゃ 周防税務 株式会社 代表取締役 周防 太郎 (屋号 のんたおおしま )</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">資産の種類</th> <th colspan="3">取 得 価 額</th> <th rowspan="2">計((イ) + (ロ) + (ハ)) (ニ)</th> </tr> <tr> <th>前年前に取得したもの (イ)</th> <th>前年中に減少したもの (ロ)</th> <th>前年に取得したもの (ハ)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 構築物</td> <td>8,800,000</td> <td>3,000,000</td> <td>3,650,000</td> <td>9,450,000</td> </tr> <tr> <td>2 機械及び装置</td> <td>18,335,766</td> <td>9,521,246</td> <td>17,974,500</td> <td>26,789,020</td> </tr> <tr> <td>3 船舶</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4 航空機</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5 車両及び運搬具</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6 工具、器具及び備品</td> <td>3,750,000</td> <td></td> <td>2,035,900</td> <td>5,785,900</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>30,885,766</td> <td>12,521,246</td> <td>23,660,400</td> <td>42,024,920</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">資産の種類</th> <th colspan="2">評 価 額 (ホ)</th> <th rowspan="2">決 定 価 格 (ヘ)</th> <th rowspan="2">課 税 標 準 額 (ト)</th> </tr> <tr> <th>(ホ)</th> <th>(ヘ)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 構築物</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2 機械及び装置</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 船舶</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4 航空機</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5 車両及び運搬具</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6 工具、器具及び備品</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>7 合 計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">電算処理方式により申告される方以外は 記 入 不 要</p>			資産の種類	取 得 価 額			計((イ) + (ロ) + (ハ)) (ニ)	前年前に取得したもの (イ)	前年中に減少したもの (ロ)	前年に取得したもの (ハ)	1 構築物	8,800,000	3,000,000	3,650,000	9,450,000	2 機械及び装置	18,335,766	9,521,246	17,974,500	26,789,020	3 船舶					4 航空機					5 車両及び運搬具					6 工具、器具及び備品	3,750,000		2,035,900	5,785,900	計	30,885,766	12,521,246	23,660,400	42,024,920	資産の種類	評 価 額 (ホ)		決 定 価 格 (ヘ)	課 税 標 準 額 (ト)	(ホ)	(ヘ)	1 構築物					2 機械及び装置					3 船舶					4 航空機					5 車両及び運搬具					6 工具、器具及び備品					7 合 計				
資産の種類	取 得 価 額			計((イ) + (ロ) + (ハ)) (ニ)																																																																																			
	前年前に取得したもの (イ)	前年中に減少したもの (ロ)	前年に取得したもの (ハ)																																																																																				
1 構築物	8,800,000	3,000,000	3,650,000	9,450,000																																																																																			
2 機械及び装置	18,335,766	9,521,246	17,974,500	26,789,020																																																																																			
3 船舶																																																																																							
4 航空機																																																																																							
5 車両及び運搬具																																																																																							
6 工具、器具及び備品	3,750,000		2,035,900	5,785,900																																																																																			
計	30,885,766	12,521,246	23,660,400	42,024,920																																																																																			
資産の種類	評 価 額 (ホ)		決 定 価 格 (ヘ)	課 税 標 準 額 (ト)																																																																																			
	(ホ)	(ヘ)																																																																																					
1 構築物																																																																																							
2 機械及び装置																																																																																							
3 船舶																																																																																							
4 航空機																																																																																							
5 車両及び運搬具																																																																																							
6 工具、器具及び備品																																																																																							
7 合 計																																																																																							

## (2) 種類別明細書(増加資産・全資産用)の記入方法

- ◎ 前年中に申告された方は、令和7年1月2日から令和8年1月1日までに取得した資産（同期間中に移動又は除却した資産は除きます。）を記入してください。  
また、令和7年1月1日以前に取得した資産で申告する必要のある資産がありましたら記入してください。

◎ 初めて申告される方は、令和8年1月1日現在所有している全ての資産を記入してください。

注意 「増加事由」の欄は、1新品取得、2中古品取得、3移動による受入れ、4その他のいずれかに○印を付けてください。

R01.05.571137

当該資産にかかる特記事項がある場合、又は<「増加事由」>で「4. その他」を選択した場合は、次のような事項を記入してください。

- ・資産の申告漏れがあった場合は、その旨の表示。  
(例：申告漏れ分)
- ・課税標準の特例の適用がある資産については、その旨の表示と適用条項。  
(例：特349の3①)
- ・他の市区町村からの移動等により受け入れた資産については、移動の年月等。(R7.6柳井市)
- ・耐用年数の短縮を適用している資産については、その旨の表示。  
(例：短縮)
- ・中古資産の見積耐用年数を適用している資産については、その旨の表示。  
(例：中古)
- ・増加償却を行っている資産については、その旨の表示。  
(例：増加償却)
- ・耐用年数省令の改正により耐用年数を変更する場合は、その旨の表示。  
(例：H20改正前10年)
- ・合併等により受け入れた資産については、その旨の表示。  
(例：合併による受入れ)
- ・贈与、相続等により個人が取得した資産については、その旨の表示。  
(例：贈与、相続、遺贈)
- ・その他、当該資産の価格の決定にあたって必要な事項。

### (3) 種類別明細書(減少資産用)の記入方法

◎ 令和7年1月2日から令和8年1月1日までに減少した資産について記入してください。

令和8年度			種類別明細書(減少資産用)												第二十六号様式別表二(提出用)					
所有者コード			所有者名																	
			周防税務 株式会社																	
			1 枚のうち																	
行番号	抹消コード	資産の名称等	数量	取得年月	取 得 価 額	耐用年数	申告年度	減少の事由及び区分		摘要										
								売却	減失		全部	一部								
01	1	コンクリート舗装	1 3 63 7	10億 3,000,000	15	1	1・②・3・4	①・2												
02	2	裁断機	1 4 3 10	3,702,206	10	4	1・2・③・4	①・2	R7.6柳井市へ移動											
03	2	フォーム印刷機	2 4 14 9	5,819,040	10	15	①・2・3・4	1・②	当初8,728,560円数量3 税務商事へ売却											
04							1・2・3・4	1・2												
05							1・2・3・4	1・2												
06							1・2・3・4	1・2												
07	<b>〈資産の種類〉</b> 「1. 構築物」 「2. 機械及び装置」 「3. 船舶」 「4. 航空機」 「5. 車両及び運搬機」 「6. 工具、器具及び備品」		08	<b>〈年号〉</b> 「1. 明治」 「2. 大正」 「3. 昭和」 「4. 平成」 「5. 令和」 例) 令和5年4月 に取得した資産の取 得年月は、年号 「5」、年「5」、 月「4」と記載して ください。		09	<b>〈減少等の事由及び区分〉</b>		10			11			12			13		
14							1・2・3・4	1・2												
15							1・2・3・4	1・2												
16							1・2・3・4	1・2												
17							1・2・3・4	1・2												
18							1・2・3・4	1・2												
19							1・2・3・4	1・2												
20							1・2・3・4	1・2												
小計																				
12,521,246																				
R01.05.571211																				